

# 委員意見及び対応方針(案) 〈自由意見等〉

(第2回基盤整備部会資料)

令和元年8月19日

委員意見及び対応方針（案）〈自由意見等〉

資料 3

No.	委員名	種別	検討テーマ	自由意見等	対応方針（案）
1	小野 専門委員	第2回 意見書	第3章 環境、文化、景観等と まちづくり	【重要性を増した課題】 人口減少時代に合わせた長期的な都市構造への転換に向けた横断的な取り組みが必要	【関係機関と協議し対応を検討する】 県としては、県土の均衡ある発展や持続可能な社会の構築に向け、都市計画区域関係市町村と一体となって取り組むこととしています。 都市計画に関する課題等に対応するため、関係市町村や県関係部局及び学識経験者等で構成する協議会を設置するなど、必要に応じた横断的な取り組みを適時行うこととしております。
2	平良 専門委員	第2回 意見書	第3章 防災・減災対策	【重要性を増した課題】 電線類の地中化は景観のみでなく本来は台風常襲地帯の本県においては県民生活の安全・安心、観光の振興など防災・産業振興の観点から非常に重要であるがその取り組みが遅すぎる。電線類地中化事業は新たな振興計画の大きな柱に位置付けるくらいの取り組みが不可欠。そのための対策を検討すべき。	【関係機関と協議し対応を検討する】 沖縄県内の道路では、平成3年度から無電柱化推進計画等による整備を行っており、平成30年度末までに154.7kmの整備を完了している。無電柱化推進事業は道路管理者と電線管理者で一体的に行うものであり、電線管理者へ生じる費用負担も少なくないため協力が不可欠となることから、「沖縄ブロック無電柱化推進協議会」等を通して整備が可能な路線及び延長について合意形成を図りつつ事業を推進しており、電線管理者の意見も踏まえて今後の対策を検討すべきと考えられる。
3	平良 専門委員	第2回 意見書	第3章 観光、物流等を支える 自立型経済構築に向け た基盤整備	【重要性を増した課題】 観光客の飛躍的増大に伴い、地域・離島によってはオーバー・ツーリズムが現実の課題となっている。これに対応した基盤整備、特に道路、空港、港湾、社会施設の整備・配置の在り方が問われる時代になってきた。観光入域客数目標を1500万人とするとこの問題は重要となる。	【検討中】 第3回基盤整備部会にて対応方針（案）を提出予定
4	平良 専門委員	第2回 意見書	第3章 離島における社会基盤 の整備	【新たに生じた課題】 観光客の飛躍的増大に伴い、島によってはオーバー・ツーリズムが懸念される。特に、宮古島では水の確保は大丈夫かという懸念の声がある。島ごとに検討すべき。	【検討中】 第3回基盤整備部会にて対応方針（案）を提出予定

No.	委員名	種別	検討テーマ	自由意見等	対応方針（案）
5	平良 専門委員	第2回 意見書	第3章 建設産業及び人材育成	<p>【重要性を増した課題】</p> <p>商工労働部が所管するものづくり産業の支援制度として「産業高度化・事業革新促進地域制度」があるが、建設業関連業種は対象となっていない。沖縄県においては本島のみでなく地域・離島等において建設業は重要な役割を果たしており、この制度の対象業種に加え建設関連業の高度化・振興を支援する必要がある。</p>	<p>【検討中】</p> <p>第4回基盤整備部会にて対応方針（案）を提出予定</p>
6	平良 専門委員	第2回 意見書	第3章 建設産業及び人材育成	<p>【重要性を増した課題】</p> <p>建設業界では人材確保が深刻な状況にある。特に中規模以下の企業では人的余裕がなく育成に時間のかかる社員採用は難しく、ある程度即戦力のある人材を求めている。このため商工労働部が所管する職業能力開発校と連携(学科の拡充も含む。)しある程度即戦力となる人材を創出していく必要がある。工業高校卒だけでは不足するので普通高校卒の人材(建設業への転換)も含めて検討が必要と思われる。</p>	<p>【検討中】</p> <p>第4回基盤整備部会にて対応方針（案）を提出予定</p>
7	平良 専門委員	第2回 意見書	その他	<p>【新たに生じた課題】</p> <p>米軍・嘉手納飛行場由来の汚染と思われる有機フッ素化合物(PFOS、PFOA)について、県民の安全・安心の観点から上下水道の整備に合わせて水質の確保対策を明記すべきではないか。新たな水源の確保も検討課題(比謝川水系の水源廃止)。</p>	<p>【総点検報告書への記載を検討する】</p> <p>北谷浄水場の水源で検出される有機フッ素化合物については、浄水場等における水質管理や浄水処理を行っているが、引き続き、低減化対策に努める必要がある。重要な課題と考えていることから、総点検報告書への記載を検討していきたい。</p>